

1 日時 平成 26 年 1 月 17 日（金）11:00～

2 場所 富山県民会館 701 号室

3 議事

（1）子育て支援・少子化対策に関する基本計画の策定についての諮問（資料 1）

（2）子育て支援・少子化対策に関する基本計画の概要について（資料 2）

（3）基本計画策定部会の設置について（資料 3）

（4）保護者及び企業向けアンケート調査結果の中間報告について（資料 4, 5）

（5）子育て家庭に対する支援施策検討部会の中間とりまとめについて（資料 6）

4 委員発言要旨

A 委員

- ・子どもができると家庭が明るくなると身をもって体験した。
- ・40 歳になってはじめて不妊治療の成功率を見たときに愕然とした経験がある。
- ・行政が 20～30 代前半で子どもを持つために、ある意味確信犯的に事業などに取り組むことも必要ではないかと思う。

B 委員

- ・部会の中間とりまとめを拝見し、子育て支援に関する施策が全て網羅されていると感じた。
- ・少子化対策は喫緊の課題であり、早く結婚してもらおうという意識啓発は、重要な取り組みである。
- ・出産適齢期を伝えることは大事であるが、どのように伝えていくかが大きな課題と思う。
- ・若い世代はイメージ世代なので、結婚の喜びや楽しさ等を伝えることで、早めの結婚・出産につながっていければ良いと感じた。

C 委員

- ・産婦人科によるセミナーを実施した際、母親たちの中には、出産に適した年齢について知らない方が多かった。
- ・学校教育も大切だが、子を持つ親が出産適齢期等の知識を持ちながら子どもを育て、結婚を勧めていくことが、非常に大切だと思う。

D 委員

- ・多くの母親は 3 人目ができたときに「できてしまった」と言われる。それだけ育児が大変で、2 人でも大変なのに 3 人もということである。
- ・実際に父親が 1 ヶ月育休をとられた母親の話を聞くと、給料も少ないし、あまり家事も手伝ってくれないので、働きに行ってほしいといわれる方もいた。在宅勤務等、働き方についても見直していくことが必要である。
- ・病児保育のニーズも高く、子どもが病気でもそんなに会社を休めないし、電話がかかってきてもすぐには行けないという方が多い。
- ・子育て中は働き盛りの時期でもあるが、父親もなるべく早く帰ってあげて、子育てに少しでも協力してもらえたらいいと思う。

E 委員

- ・教育・子育て支援は未来への投資であると言われており、思い切った取り組みが必要ではないかと思う。
- ・県には市町村とがっちりスクラムを組んで、強力なリーダーシップを発揮していただき、富山県全体を引っ張っていただきたい。
- ・保育人材の確保は介護と並んで非常に厳しくなっており、人材育成をしっかりとやっていく必要がある。
- ・ちょうど結婚・出産に向かう年齢層の県外流出が、富山県の場合は少子化の大きな要因ではないかと思う。

F 委員

- ・県外流出など、人口減少は企業にとっても大きな問題である。
- ・一般事業主行動計画を制定し、制度を作っても、十分利用されていないこともあるので、制度の活用が進むよう対策を考える必要がある。
- ・企業側としては優秀な人材確保のためにも、従業員がもっと働きやすくなる方策を考えていく必要がある。
- ・企業にとって一番大事なものは人であり、人の採用・育成・確保がこれから大事なキーワードになる。
- ・結婚が進まないということで、私の組織でも来年度婚活に取り組むこととなったが、その中でいろんな課題・問題が上がったらご報告させていただきたいと思う。

石井知事

- ・意識調査や中間とりまとめにもあったが、若い人にとって、結婚して子どもを育てることはとても大変だというイメージが先行している。
- ・子育ての明るい面、それが自分の人生にとって生きがいになるというところを、上から押し付けるのではなく、どのように上手くアピールしていくかということについて、知恵を頂きたい。
- ・いつ結婚するかや子育てするかはそれぞれの人生観もあり押し付けることは難しいが、出産年齢等の知識を若い頃から親御さんや周りの人が情報提供して、若いころから心の準備をしていくという雰囲気や環境づくりが大事だと思う。
- ・高校卒業時の県外流出は、確かに多い傾向にあるが、この7～8年はUターン事業にずいぶん力を入れており、かつて51%だったUターン率が、現在は56～57%ぐらいになっており、全国でもトップクラスである。
- ・富山県は好きだが一度は県外に出て勉強してみたいという人も多いので、トータルとして富山県を担う人材が確保されるということが大事だと思うので、また努力したい。
- ・新幹線開業もあり、企業立地を積極的にやっている。今後立地する国際的なコールセンターでは、雇用者の約7割は女性を予定しており、また、事業所内保育施設も作ると約束している。このようなコールセンターが立地すると、女性のUターン率がさらに高まると思う。